

清浄化対策の一環として、町有牛の哺乳期の人工哺乳業務に活用することになりました。

町有牧野でのヨーネ病清浄化を達成した後に、酪農家の皆さんから子牛をお預かりし、事業の目的に沿った利用を行います。

8 新型コロナウイルス感染症対策について

町では、1月中旬から国や道からの情報提供や注意喚起を注視していましたが、1月28日の道内での感染者確認を受け、1月末日付けで町内社会福祉施設へ、手洗い、咳エチケットなどの予防対策や相談窓口などの情報提供、町民に対しては取り急ぎ町ホームページへの注意喚起文書などの掲載、役場内へも同様の情報提供などを行うとともに、公共施設への手指消毒剤の設置と感染症対策に係る備蓄資機材調達などの対応を開始しました。

その後も道内外において感染者が拡大したことから、2月25日に「新冠町新型コロナウイルス感染症対策準備室」を設置し、3月15日まで町主催のイベントの原則中止の方針を決定するとともに、町主催以外のイベントについても開催の自粛に向け、

関係団体と調整することに着手しています。

2月26日、新ひだか町での感染者発生の情報を受け、同日付で対策準備室から「新冠町新型コロナウイルス感染症対策本部」へ改め、町内における感染者の発生と蔓延の防止のため、事前対策、情報収集などを講じるとともに、継続して本部会議を開催しています。

次に小中学校教育施設などは、北海道教育委員会から2月27日から3月4日までの臨時休業要請が出されたことを受け、要請どおり臨時休業とする方針を決定しましたが、更にその後、示された国の方針を踏まえ、3月24日まで期間を延長しました。また、「認定こども園ド・レ・ミ」「児童館」なども、休所または休止を決定し、その他の公共施設も、3月末まで休止などの取り扱いとしました。

イベントや各種町実施事業は、中止や延期、縮小や感染防止対策の実施など、町民の皆さまにはご不便をお掛けしていますが引き続きご理解願います。

今後も感染拡大防止の取り組みと町民への正確な情報の発信に努めていきます。

これを受け教育委員会では、本年9月を目前に、義務教育課程の適正規模・適正配置に関する基本計画を取りまとめたいと考えています。

4 「GIGAスクール構想」について

GIGA（ギガ）スクール構想は、国の補助事業で、各学校に高速大容量の通信ネットワーク環境を整備することを条件に、児童生徒に1人1台の学習用端末を配備しようとするもので、国は、令和5年度までに、全国の公立学校にICT環境を整備することを目標としています。



新冠小学校でのICTを活用した授業の様子

教育委員会では、年次計画で全校のICT環境の整備を進めたいと考え、本定例会補正予算で、補助の採択要件であります小中学校の通信ネットワーク

教育長行政報告

1 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
本調査は例年同様、小学5年生、中学2年生を対象に、実技8種目に加え、児童生徒及び学校、教育委員会に対する質問紙調査の内容により4月から7月末までの期間で行い、文部科学省から調査結果について通知がありました。

体格に関する項目のうち、身長・体重の状況は、いずれも全国平均と比べ、男子は、小・中学生ともに「ほぼ同様、やや高い」状況が見られ、女子は、小・中学生ともに「同様、やや痩せている」状況が見られています。

実技調査では、小・中学生が男女ともに「握力」「ソフトボール投げ」で全国平均を上回りましたが、「50M走」「20Mシャトルラン」の2種目では下回る結果でした。

児童生徒の意識傾向として、「運動が好き」「運動する時間を持ちたい」「保健体育の授業が楽しい」という回答が多く見られる結果となっております。

本年度の結果分析を進めるとともに、経年的な傾向を踏まえ、体力向上推進委員会において、

備に係るLAN環境の整備として配線工事などの予算を計上しています。

令和2年度からは、1人1台端末機器整備に向け、機種選定などを進め、工事完了後、計画に沿って機器整備を進めていきたいと考えています。

5 認定こども園ド・レ・ミの遊戯ホール床改修工事の実施について

1月8日、認定こども園の遊戯ホールで、園児がリズム遊びを行っていたところ、床板の一部が剥離していたことが原因で、4歳児1名の首筋後方に裂傷を負わせる事故が発生しました。

病院を受診した結果、全治数日程度の軽傷で大きな怪我には至りませんでした。同日、副町長をはじめ建設水道課職員とともに現場を検証したところ、施設内全体に床材の歪みや剥離箇所があり、今後同様の事案が発生する恐れがあると判断し、早急に改修工事を実施することにし、工事費用に係る補正予算を1月8日付けで専決処分にて措置しました。

負傷された園児、保護者にお詫び申し上げますとともに、今後とも安心安全な教育保育活動の実践に職員一同、意を用いていきます。

体力向上対策を検討していく予定です。



新冠中学校での体力向上の取り組みの様子

2 新冠中学校卒業生の進路希望状況について

新冠中学校卒業生徒数43名、全ての生徒が進学希望で、出願の内訳は、日高管内公立高校への希望者が30名、管外公立高校が9名、私立高校の単願が4名となっております。

3月1日現在で6名の合格が内定していますが、本年度の特徴として、管外の公立校・私立校を目指す生徒の多さが伺えます。

3月4日に公立高校の学力検査が行われますが、新型コロナウイルス感染症対策のために本年度については、学力検査のみとし、面接試験は実施されません。

6 新型コロナウイルス感染症対策に係る対応について

教育委員会が所管する施設、及び主催事業は、感染症対策本部の方針に基づき、施設の休館、事業の中止または延期を決定しています。

小中学校の対応は、北海道教育委員会からの通知があり、要請どおり2月27日から3月4日まで臨時休業措置を決定しましたが、2月28日には、国の方針を踏まえ、道教委から臨時休業の延長要請があり、3月24日まで休業期間を延長することを決定し、各校に通知しました。

一方、認定こども園と児童館における学童保育の対応では、2月26日近隣町における感染者の確認報道を受け、休業措置が必要であると判断し、3月4日までの間、休業することにしました。今般の小中学校の休業期間延長決定を受け、3月末まで休業期間を延長しました。

最後に、小中学校の卒業式や修了式の対応は、式典内容や出席人員を縮小するなど、感染予防に配慮した上で開催する方向で準備を進めています。休業期間中、2回程度の分散登校の実施についても検討しています。

3 新冠町小中学校適正規模等基本方針の策定に係る答申について
昨年5月に「町立学校あり方検討委員会」を設置し、小中学校適正規模などに関し諮問しており、昨年12月20日に検討委員会から答申をいただきました。

検討委員会では、国や北海道の学校適正化の基本的考え方の確認、小・中学校の現状と児童生徒数の将来推計、アンケート調査の結果などを勘案した上で、答申内容がまとめられています。

1点目、町立学校の適正規模では、学級定員数は、1学級25から30名程度が適当であるとされています。

2点目、町立学校の適正配置では、町内の小学校は再編整備（統合）を視野に検討する必要がある、早期に基本計画を策定し方針を具体化する必要があるとされています。

3点目、町立学校の施設整備では、小中学校の早期改築（新築）計画の策定が必要であるとされています。

4点目、再編整備検討に関して配慮すべき事項では、小学校2校間における交流や、スクールバス運行に関し運行の柔軟性、また、学校運営に関し効果的にコミュニケーションを活用することなどが上げられています。